

2023 年 11 月 11 日

乗木養一

4 年 A 漢字

清 現代日本語でのあらわれかた

榎本実践にみられた語（所用 24 分間，2018 年 1 月 16 日，東京都公立小学校）

きれい						板書 (数字は授業時の記載順)
7 清水（しみず） 「今日」	2 清書	4 清算	6 清そう	5 清けつ	3 清音	1 清流
	11 お清め		10 へやを清める	9 心を清める		8 清らかな流れ
					きよ（まる）	きよ（い）

漢字プリントの例文

- ・ つめたい水で、身を清める。
- ・ 下書きを清書して、先生に出した。
- ・ まずしくても、心の清い人になりなさい、と先生に言われた。
- ・ 清流でさかなつりをした。

1. コトバあつめ（ドリルのみ参照。国語辞典は利用していない）

清流 清書 清音 清算 清潔（妖精）（流星群）清掃 清掃員 清掃工場
清水くん（「今日」と同じ特別な読みかた）

2. 文づくりでの交流（赤字は報告書で紹介された文にある語）

心の清い人 手を清けつに保つ 清流で心を清める 作文の清書をする
社会で清瀬市を調べた まじ清い人 清水寺に行った 清らかな流れの川
清流を見ながら修行をする きたない水を清める（浄水場・水再生工場）
清音の発声練習（遠足は晴雨に関係なく行く→「青・清・晴」を関連づける）
清まる 清そう 清音 清算

国語教科書にみられる語 (P. 3)

清音→だく音→半だく音（3 年「国語辞典の使いかた」）
清書→下書き（4 年「新聞づくり」）
清流（4 年・5 年）清らかな流れ（4 年）
清らかに（5 年「大造じいさんとガン」）
清潔（5 年，新出漢字「潔」）
清水 [しみず]（6 年「特別な読み方の言葉」）

国語科学習用語

きれい

清流 清潔 清浄
清纯 清い 清らか

《よごれがなくきれい》

清掃 清書
清める

《よごれをとりさり、きれいにする》
《きれいにととのえる》

清（**形容詞**）＝類義の語「清潔・清浄」

清（連用修飾語）→動詞等 「清流」

清（連体修飾語）→名詞等 「清酒」

清（**動詞**）＝類義の語「清掃」

清（連用修飾語）→動詞等「清書」

清（補足語）←動詞等「清算」
（算を清する＝チャラにする）

現代日本語でよくつかわれる「清」の漢字語（上位7語）（P. 16）

清潔 清掃 清算 清流
清浄 清そ（楚） 清涼

トレンドは（P. 19）

清潔感 清楚系

なやましいのが和語

あて字「清水」（P. 8）

表外訓「清々しい」（P. 11, P. 24）

中学校・高等学校の各教科で学ぶおもな「清」の漢字語（P. 8）

清涼殿 清少納言 平清盛 藤原清衡

清教徒革命

清国 日清戦争

「清」[シン] は中国の王朝としての「清」をさすだけの表外音。

入学試験によく出る「清」の漢字語（P. 9）

高校入試 「清潔」の書きとり。一字訓読み問題はほとんどみられない。

大学入試 「清算・精算・成算」のつかいわけにかかわる問題。「清掃」が多少。

巻末 P.30 に「さくいん」をのせました。

1. こどもたちがであいそうな「清」をふくむコトバ

漢字「清」は、全体的にプラスイメージの字とうけとめられています。

「清流」「清潔」「清浄」「清涼」「清純」や和語の「清い」「清らか」などは、《よごれがなくきれい》つまり《乱雑なところや不潔感がなくて気持ちをよくさせるようす》という印象をもたせます。

また、「清掃」や「清書」「清める」などは《よごれをとりさり、きれいにする》《きれいにととのえる》といった意味あいをもちます。

どれも悪い印象はありません。

こどもたちの日常生活でふれるコトバがたくさんあり、イメージしやすい字といえます。

ここでは、「清」をふくむコトバが日本語にどのようにあらわれ、どのようにはたらき、どのようにふるまっているのかをさぐることにします。

まず、こどもたちがどのような「清」をふくむコトバにであうのか、であう可能性があるのかを確認します。

国語教科書における「清」をふくむコトバ

現行の 2020 年版国語教科書にある「清」をふくむコトバをさがしてみます。

国語科の学習語句に「清音」と「清書」があります。

清音

小学校 3 年で国語辞典のつかいかたをまなびます。「見出し語」というコトバを知ったうえで、その配列順を学びます。五十音順にならんでいること、そして語頭が清音のものが先にならび、そのあと濁音、半濁音の順にしめされることを確認します。

ここで「清」をふくむコトバにはじめてふれることになります。

各社とも、「清音」の「清」に「せい」とかなをふっています。

〔教育出版〕3 上 P.35 〔光村図書〕3 上 P.33

〔東京書籍〕3 上 P.35 〔学校図書〕3 上 P.33

国語辞典では、言葉が「あいうえお」の順（五十音順）にならんでいます。これらを見出し語は、「か・さ・た」などのにこない音（清音）のあとに、「が・ぎ・だ」などのにごる音（だく音）や「ば・び・ぶ」など（半だく音）がしめされます。

【図】教育出版 3 年上巻 P.35

清書

『小学校学習指導要領』国語 3, 4 年の「書くこと」の言語活動例に「調べたことをまとめて報告するなど、事実やそれを基に考えたことを書く活動」をあげています。これに対応するものとして、教科書では各社ともに「新聞づくり」の教材を提示しています。学習の流れは「計画を立てる→取材する→割り付けを考える→記事を下書きする→読み返して清書する→完成した新聞を読みあい、感想を伝えあう」ということにしています。

ここで「清書」が登場します。

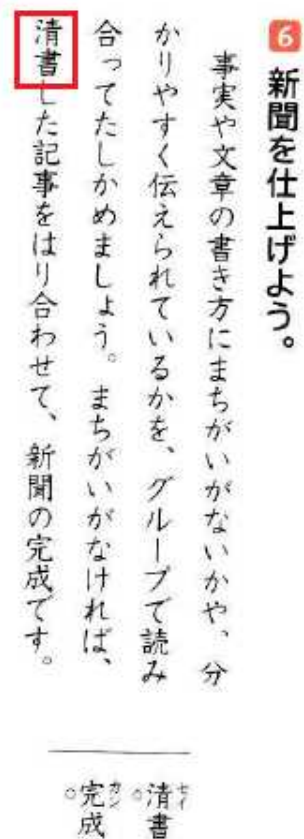
〔教育出版〕4 上 P.101 〔光村図書〕4 上 P.93

〔東京書籍〕4 上 P.56 〔学校図書〕4 上 P.61

4 社のうち、光村・東書・学図は、ここで「清」を新出漢字として提出しています。教出は、「せいしょ（読み返して直した文章を、きれいに書き直すこと）」と、かなでしめしており、この段階での新出漢字あつかいにしていません。新出漢字としての「清」は次ページにしめす 4 年下巻になります。なお、教出で「清書」は、5 年上巻「熟語の構成」で漢字「書」の意味と語例のなかでみられます。



【図左】東京書籍 4 年上巻 P.56



【図右】光村図書 4 年上巻 P.93

清らかな流れ

教出が「清」を新出漢字として提出するのは、二字の漢字語の構成についてまなぶ4年下巻の教材「熟語のでき方」です。上の漢字と下の漢字とで、意味につながりがあることを確認し、それがどのようなつながりかたをしているかを考える教材です。

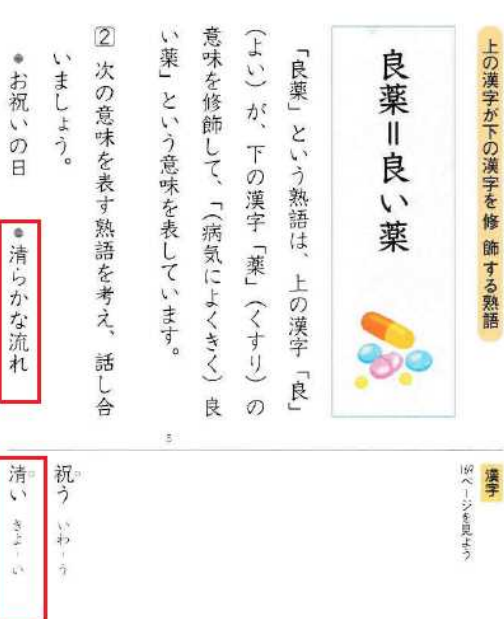
「清」は、「高温」を《高い温度》、「良薬」を《良い薬》のような修飾関係の熟語(漢字語)とともに学びます。まず上の漢字から下の漢字を読み下すことによって熟語の意味を推測する活動にとりくみます。ついで、読み下しの経験をもとに、逆に連体修飾関係の語句、連用修飾関係の語句について、それぞれの意味をもとにどのような熟語となるかを考え、話し合うというものです。

ここで「清らかな流れ = 清流」を確認します。

漢語を和語に読み下す、意味をてがかりに和語を漢語にする、これをほんのわずかな時間のうちに頭のなかでおこなうことを習慣化できるようねらっています。

なお、教出5年下巻の前学年の漢字の学習ページ「四年生で学んだ漢字」では、この「清流」を提出しています。

また、光村5年の前学年漢字の学習ページ「4年生で習った漢字」(P.186)、学図「4年生で習った漢字」(下巻 P.33)も「清流」をのせています。



【図】教育出版4年下巻 P.78



【図】教育出版5年下巻 P.32

清らかに

「清らか」は《けがれなく澄みきって美しいさま》《澄みきっていて、すがすがしさを感じさせるさま》をあらわすナ形容詞（形容動詞）です。

それが4社の教科書がすべて5年でのせる『大造じいさんとガン』（大造じいさんとがん）にあります。

この作品の終末の場面で、情景を描いた表現として「清らかに」がでてきます。

らんまんとさいたスモモ（すもも）の花がその羽にふれて雪のように 清らかに、はらはらと散りました。

光村は、「てびき」で、児童が「物語のみりよくをまとめた例」として、ここをとりあげています。

「この表現には、残雪の堂々とした行動に心を動かされた大造じいさんの、すがすがしい心情が表れていると感じました。」

東書は、「描写をていねいにとらえると、想像をより広げることができる」ということから、やはり「てびき」で「次の情景描写には、だれのどのような心情が表れているでしょうか。」と、このくだりをしめして、問いかけています。おそらく、この情景描写から、「明るくすがすがしい大造じいさんの心情」をとらえさせているのでしょう。

「明るくすがすがしい心情」をいただくのが、すなおに読めば、大造じいさんでしょうが、あるいは語り手かもしれないなどと、さまざまな読みがあるかもしれません。

いずれにしても「清らかに」があることで、いまをさかりに咲きほこった白いすももの花が散っているようすを、効果的に表現していることは、まちがいありません。

この機会に「きよらかな」「きよらかに」を適切につかいこなせるようにしたいものです。

らんまんとさいたスモモの花が、その羽にふれて、雪のように清らかに、はらはらと散りました。
「おうい、ガンの英雄よ。おまえみたいなえらぶつを、おれは、ひきようなやり方でやつつけたかあないぞ。なあ、おい。今年の冬も、仲間を連れてぬま地にやって来いよ。そうして、おれたちは、また堂々と戦おうじゃあないか。」

清潔

漢字「潔」は5年の新出漢字です。

光村は、『漢字の成り立ち』(5年 P.35)で「清潔」をしめし「潔」を提出しています。ここでは、「清潔」の「清」の成り立ちを、漢字辞典をつかって調べる活動を提示しています。この機会に字源にさかのぼり「清」の意味をとらえさせ、「清潔」の意味をよりいっそう理解できるように、はかっているようです。

東書は、「にんべんの漢字」として、新出漢字の「保」をとりあげているところ(5年 P.135)に「清潔を保つ」という句をしめして「潔」を提出しています。ひとつの句に、ふたつものせることで新出漢字を消化するあつかいです。

学図は、「5年生で学ぶ漢字」のページ(下巻 P.118)で「身の回りは、いつも清潔に保ちましょう。」で「潔」を提出しています。なお「保」は上巻でまなんでいます。文で提出するだけ、東書よりは、ましです。

なお、教出の「潔」は、「簡潔」というコトバで提出しており(5年下巻 P.78)5年の段階で「清潔」の語はかかげていません。

そして6年「音を表す部分」(6年下巻 P.38)で「青」を音符とする形声文字「清・晴・清」をならべ、「清」の語例として「清潔」をとりあげています。

漢字の広場 4

漢字 おん

音を表す部分

□ 線の漢字の共通点に注意して、次の文を読みましよう。

- 机の上を清潔に保つ。
- 運動会は晴天にめぐまれた。
- 素材を精選する。

「清・晴・精」などの漢字に共通する「青」という部分は、「セイ」という音を表しています。

「青」の字は、若葉の芽生えと、井戸の中の清水の様子を組み合わせでできた

した。そして、その成り立ちから、「すみきった」というような意味がふくまれています。

「青」を部分にもつ漢字は、「セイ」という音だけでなく、「すみきった」などの意味もあわせもっています。

清↓水+青(すみきった水)
 晴↓日+青(太陽とすみきった空)
 精↓米+青(よかれを取り去ったきれいな白米↓混じりけのない本当のもの)

漢字 148ページを見よ

清水

【図】教育出版6年下巻 P.38

清水

「しみず」は、《地面や岩の間などからわき出る、澄んできれいな水》をさします。「わき水」のことですが、「温泉」はふくまれません。「にごりのない冷たい水」というイメージがついているからです。ときに「わき水から出た、小さな流れになっているもの」もいいます。

語源は《すみきったみず》ということから「すみず」（澄水）が「しみず」に転じたもの、《こおるように冷たく感じるみず》ということから「しみみず」（凍み水）がもとになり「しみず」になったなど諸説あります。また「みず」に美称「し」がついたものとみるむきもあります。

いずれにしても、「しみず」を「清水」という表記にしたのは、あて字です。常用漢字表では「付表の語」としています。文部科学省の「小・中・高校の学校段階別の割り振り表」で「清水」は、小学校段階としめされています。

そこで、教科書にのせざるをえないのですが、各社とも4年の新出漢字「清」にあわせて、提出することは、さけています。用例が少ない、「清」の音訓とおすびつかない、「清」に《わき水》の意味はないなどが理由です。

教出は、前ページにかかげた教材で、「井戸の中の清水の様子」とやむをえず「清水」と表記していますが、正確には「井戸の中のすみきった水の様子」とする方がのぞましいといえます。

光村、東書、学図は、あえて本文にのせていません。6年の巻末の一覧表にのせることで対応しています。

一部に《清らかなわき水。清らかに澄んだ水》というイメージがつたわるから絶妙なあて字であると評価するむきもあります。そして、「清」の字を指導する機会に、いっしょにとりあげるべきだという意見もあります。

しかし《清らかな水》という意味で「清水」は[きよみず]、[セイスイ]などとも読みます。一語で複数の読みがあるのは、日本語をいっそうわかりにくくします。「しみず」を「清水」と表記することは、検討の余地があります。

なお、「清水」[しみず]は伝統的な表記から人名・地名等でつかわれ、学級によっては、この名字の児童や教員がいることもあります。話題になり、とりあげて指導することは、ありえるでしょう。

中学校・高等学校の各教科の教科書にみられるおもな語

「清涼殿」「清少納言」「歌風は清新・素朴」（高校古文）

「平清盛」「藤原清衡」「清国」「日清戦争」「清教徒革命」（高校日本史・世界史）

「素朴で清澄な線でさらりと書き上げているさま」「平明清新な書風」「清爽高雅な仮名」（高校芸術科書道）

2. 入試に出てくる「清」をふくむコトバはなにか

高等学校や大学の入学試験は、学校教育に影響をあたえがちになります。対策に流されないようにするとともに、ある程度の実態はとらえておきたいものです。

漢字「清」は、字形も比較的複雑でなく、漢字語の意味もわかりやすいので、高等学校や大学の入学試験には、他の漢字にくらべて、「よく出る」というわけではないようです。わずかな例ですが、過去に出題された入学試験の漢字問題をあつめてみました。(文中の下線部が出題か所)

公立高等学校の入学試験問題

(1) いちばん多いのが「清潔」の書き問題

いちばん多くみられるのが「清潔」の書きです。小学校4年配当の「清」と組み立てがまよいがちとなる5年配当の「潔」の組み合わせで、出題しやすいのでしょう。

- ・ セイケツな服装を心がける。(福島)
- ・ 手を セイケツにする。(栃木)
- ・ 高校生らしいセイケツな身だしなみを心がけたい。(愛知)
- ・ 部屋を セイケツに保つ。(三重)
- ・ セイケツに保つように世話をする。(三重)
- ・ セイケツなハンカチを用意する。(滋賀)
- ・ 家の中を セイケツにする。(佐賀)
- ・ セイケツなプール。(長崎)
- ・ セイケツな服装をする。(熊本)

なかには、まれですが、読みの問題として出題されることもあります。

- ・ 手を 清潔にする。(埼玉)

直接は「保つ」の書き問題ですが、「清潔」が読めないと答えにくいような出題もみられます。

- ・ 部屋を清潔に タモつ。(栃木)

なお、漢字問題ではなく語句問題に、対義語の問題でつぎのような出題がありました。

清潔 ↔ (不潔)

(2) その他の書き問題

「清浄」

- ・高原のセイジョウな空気を吸う。(岩手)

「浄」は小学校学習漢字ではありません。書き問題として出題するのは『中学校学習指導要領』がしめす範囲からはみ出しており、問題です。

「清純」

- ・雪からはセイジュンさを与えられる。(新潟)

「雪から」「清純さを与えられる」は、「清純」のほんらいの意味である《清らかでまじりけのないこと》にそっているのですが、問題はないのですが、おそらく受験生は違和感をもつでしょう。「清純なおとめ」「清純派スター」などと現代語では多く女性をさしているカタヨリがあり、それにそめられているおそれがあるからです。受験生をとまどわせるような問題です。

(3) 読み問題

「清廉」

- ・彼は清廉な人物だ。(愛媛)

「清廉」は前掲の「BCCWJ」で19位とあまりつかわれなコトバです。

「廉」自体が、文化庁の「漢字出現頻度数調査(4)」(2022年2月)でも2581位とあまりつかわれな漢字です。当用漢字のときからある漢字ですが、生徒にはなじみがあまりないでしょう。「清廉潔白」があるからなんとなく「清廉」がイメージできるかもしれませんが、「廉価・廉売」とあわせるといったいどんな意味の漢字なのか、混乱させそうです。

(4) 出題文のなかに登場する「清」の漢字語

「清掃」

- ・地域のジュウミンが集まって清掃する。(大阪)
- ・町内清掃の参加者を募る。(岐阜)
- ・清掃のボランティアを募る。(福井)
- ・清掃活動を通して地域に貢献する。(山梨)
- ・清掃は創造を伴わない。(滋賀)

いずれも下線部分が出題の語句です。「清掃」の「掃」は、小学校学習漢字ではないので、書き問題として出しにくいコトバです。では、読み問題で出題するかとなると、かんたんすぎるとみるのか、出題者から敬遠されがちです。でもこれが読めないと解けない問題は、けっこうあるのです。

なお、最後の滋賀の「清掃は創造を伴わない」は、なにをいわんとしているのか、よくわかりません。

「清流」

- ・清流を臨むテイリュウ所でバスを降りる。(新潟)
- ・清流に躍る魚の姿が美しかった。(青森)

「清流」もかんたんすぎるとみるのでしょうか、出題される例をみつけることができませんでした。でも、このように出題文には登場します。

「清々しい」

- ・清々しく輝いていた。(静岡)

「清々しい」[すがすがしい]は、「BCCWJ」で13位とよくみられる表記ですが、常用漢字表にない訓です。そもそも中学校で学びません。でも読めるだろうとかんがえて出題したのでしょうが、とんでもないことです。

(5) 一字の漢字の読み・書きの問題に「清」はみられない

「清い」「清らか」「清める」「清まる」など訓読みでの読みや書きとりの問題にあたることはできませんでした。小学校学習漢字なので書きとりに出題されそうですが、字形がシンプルで意味もすなおに理解できやすいから、あえて出題されにくいのでしょう。

ちなみに漢字テストで、しばしば出題されるのは、「預」や「染」のように字形の細部をあやまって書きがちな字や、「さじをナげる」「パリにアソぶ」のよ

うなほんらいの意味とはちがう用法のものなどです。

その点「清」の訓は、出しにくいのかもしれませんが。

(6) 高校入試に「漢字の読み・書きの問題」が必要だろうか

そもそも、高校入試の漢字問題は、学力を測定するというよりも、受験生をふるいおとし、しばらくおために作問されるケースが多く、そのために年々出題内容を難化させていく傾向がみられます。

そして多くの都道府県の公立高校入試が、「漢字の読み」の問題で「ひらがな」で答えることをもとめ、「書き」の問題で「楷書」で書くことをもとめつづけています。こうした悪習をなくそうとする気配もみられません。

結局のところ、小・中学校の教育をゆがめる結果をもたらしています。

不要な労力を受験生におしつけることは、ただちにやめる、すでにそういう時代になっています。

大学の入学試験問題

2013 年 センター試験

出題文 ドウリヨウ親族とても油断が出来ず (同僚)

① 若手のカンリヨウ。
(官僚) 正解は①

② チリヨウに専念する。
(治療)

③ 荷物をジュリヨウする。
(受領)

④ ならかなキュウリヨウ。
(丘陵)

⑤ セイリヨウな空気。
(清涼)

2004 年 センター試験

出題文 次の日に来てナガめても

① セイチヨウな秋の空。

② 年度予算がボウチヨウする。

③ 眼下のチヨウボウを楽しむ。

④ チヨウリ場の衛生管理。

⑤ 会場いっぱい
のチヨウシュウ。

(眺)

(清澄)

(膨張・膨脹)

(眺望) 正解は③

(調理)

(聴衆)

問題 次の文の傍線部に相当する漢字を含むものを、次の各群の①～⑤のうちから、それぞれ一つ選べ。

() 内の漢字語は、解答例で問題用紙にはありません。参考までに加えました。

(1) 大学入試センター試験，大学入試共通試験

1990 年度から 2020 年度まで 31 回実施された大学入試センター試験，そして 2021 年度から現在（2023 年度）まで 4 回おこなわれた大学入試共通試験は，いわゆるマークシート方式がとられました。

設問に対してあたえられた選択肢の中から受検者が正解と思うものの数字を選択して，解答用紙（マークシート）の指定された解答欄に鉛筆でマークするという形式をとっています。漢字問題もこの形式で出題されました。

これまで計 35 回あった本試験で，「清」の漢字語について直接問うものは，ありませんでした。

ただし漢字「清」の知識が必要とおもわれる例が前ページのように 2 回ありました。

(2) 各大学・学部ごとの学力試験の漢字問題

(例 1) 問題 次の文の傍線部に相当する漢字を含むものを，次の各群の①～④のうちから，それぞれ一つ選べ。 出題文 銀行から借りていたお金を<u>セイサン</u>する。 ① 日ごろからの練習の<u>セイカ</u>が生かされた。(成果) ② 岩石の分布状態を<u>セイミツ</u>に測定する。(精密) ③ 新学期に備えて，学校を<u>セイソウ</u>する。(清掃) ④ 十分な検討をせずに<u>セイキュウ</u>に結論を出した。(性急) 正解は③	(例 2) 出題文の一部 現世における人間の行為は，来世において<u>セイサン</u>されるが，これは「復活の日」と「最後の審判」の後の行なわれる。 問題 傍線部「<u>セイ算</u>」と同じ漢字を使う言葉を次の中から選び，解答欄にマークせよ。 イ セイ果 ロ セイ密 ハ セイ掃 ニ セイ急	(例 3) 出題文の一部 「過去の植民地支配の<u>セイサン</u>と侵略戦争に対する責任を明確にする」国会決議を提唱した。 問題 傍線部のカタカナの部分の漢字に直し，楷書で記述解答用紙の所定の欄に記せ。
--	--	--

大学入試共通試験以外の各大学、学部ごとの学力試験となると出題形式はさまざまとなります。前ページにかかげるように、大学入試共通試験と同じタイプのものや、書きとりをさせるところもあります。また、必須科目に国語があっても、漢字の出題がない例もあります。

「清」をふくむ漢字語の出題は、比較的少ないようですが、ときどき出題されるのが「清算」と「清掃」です。

(3)「清算」の問題例

「清算」は、同音異義語の「精算」「成算」とのつかいわけがまぎらわしいことから、よく出題されます。それぞれのコトバの意味の違いを理解するためには、「清・精・成」および「算」といった漢字の知識が欠かせません。

「清」は「清掃」にみられるように《きれいにする》、「精」は「精密」にみられるように《こまかくゆきとどく》、「成」は《つくりあげる》《やりとげる》といった意味があります。

「精算」は《金額などをこまかく計算してきまりをつけること》でこまかな正確さに重点があります。

一方の「清算」は「借金の清算」のように《今までの貸し借りをすっかり整理して、後始末をつけること》です。転じて、《今までの関係・考えかた・やりかたなどをすべてないものとしてしまうこと》の意味でもつかわれ、これまでの関係を切ることに重点があります。

(「清算会社・国鉄清算事業団、過去を清算する・疑惑を清算する」)。

「算」は、「計算」のように《かぞえる》が代表的な意味ですが、「清算・精算・成算」の場合は、《みつもる・みこむ》といった意味になるでしょう。

どれも小学校5年までに学ぶ漢字です。

「清算・精算・成算」のつかいわけは、小学生の学習課題といえませんが、小学生のときの漢字学習、とくに意味の理解がベースになることは、まちがいありません。

出題するがわも「意味までわかっていないと解答できない」ような問題をつくらうと、くふうをこらそうとしています。「ひそやかな楽しみ」とまでいう大学教員までいます。同音異義語をもとにした出題は、いっそうふえることになりそうです。

なお、高等学校の入試でも「セイサン」の書きとり問題がときおりだされます。

- ・過去の罪をセイサンして、新たな出発をした。〔清算〕
- ・乗り越し運賃をセイサンする。〔精算〕（千葉）

（４）「清掃」の問題例

漢字「掃」が、書きとり問題に出題されがちです。訓の「掃く」だけでなく、音の「清掃」や「一掃」が提出されやすいようです。高等学校の入試に出ることはありませんが、大学入試となると出現度はけっして高くないのですが、出しやすいコトバなのでしょう。

（５）大学入試でも「漢字の読み・書きの問題」が必要だろうか

大学入試制度が多様化しています。大学や学部によって、共通試験を必要とするかどうか、学力試験をおこなうかどうか、さらに小論文や面接をとりいれるかどうかなど、さまざまな選抜方法がみられます。

大学入試改革をうたう文部科学省は、総合型選抜をふくむすべての入試方式で学力評価するよう方針を打ちだしています。

だからといって、いまなお漢字の書きとりが出されるようでは、ほんとうの意味での「学力評価」にはつながりません。

短絡的な書きとり試験では、「学力」を評価することはできません。

漢字や漢字語の意味を適切に理解し、つかいこなすことができることが、文学作品や評論文の読みを確実なものにします。また、文章表現活動をささえます。

そのためには「コトバの世界をひろげる」漢字の学習が前提となります。

大学入試の漢字試験対策に追われるのではなく、確実に語彙を質的に充実していく学びをうみだせる状況をつくること、そのことがもとめられるのです。

入試から漢字の読み・書きの問題は、退場してもらいましょう。

3. よくつかわれる「清」をふくむコトバはなにか

つぎに「清」をふくむどのようなコトバが、ふだんからよくつかわれているかその状況を見ることにします。

1966 年から 2023 年にいたる 5 つの調査から、約 60 年間の出現状況を次ページにまとめました。そして 5 つの調査データで、それぞれ上位 5 位以内に 2 回以上出現するコトバをぬきだすと、つぎの 6 つのコトバとなりました。現代日本語における「清」をふくむコトバの「ベスト 6」といえます。

よくつかわれる「清」の漢字語 6 語

清	潔	5 回
清	掃	4 回
清	算	4 回
清	流	3 回
清	浄	2 回
清	そ (楚)	2 回

「回」は、5 つの調査で 5 位以内となった回数

調査対象の分野や調査方法がことなるので、単純比較はできませんが、現代日本語の一定の傾向はみてとれます。

「清」の特性

「清」をふくむ漢字語のほとんどが、「清〇」と前項につくものです。

下接するのは「血清」と「肅清」「河清」ぐらいしかありません。

対義の漢字は「濁」が中心で「清流↔濁流」「清音↔濁音」「清酒↔濁酒」などと対応します。

なお打ち消しの「不」をもちいた「清潔↔不潔」「清浄↔不浄」などの対義関係もあります。

「清」をふくむ語の出現状況

数字黒：順位，数字青：出現回数

現代新聞 1966 年 21 語 順位	現代雑誌 1994 年 30 語 順位	BCCWJ 2011 年 37 語 順位	朝日新聞 紙面 2022 年 11 月～1 年間 40 語 順位	Google news 新着 検索 2023年1月 59 語 順位
1 清潔 33	1 清潔 23	1 清掃 1490	1 清掃 601	1 清×楚 21800
2 清酒 27	2 清×楚 10	2 清潔 1184	2 清流 229	2 清潔 12700
3 清掃 24	2 日△清 10	3 清算 1022	3 清潔 103	3 清掃 8770
4 清算 10	4 清流 6	4 血清 435	4 清算 89	4 清算 3420
5 清新 10	4 清浄 6	5 清浄 308	5 清める 85	5 清流 3140

6位以下のおもな語

6 清浄 1	4 △清々しい 6	6 清涼 271	6 清酒 84	6 清涼 959
6 清×楚 1	7 清掃 4	7 清流 198	11 清浄 31	7 清浄 860
6 清流 1	9 清算 3	11 清×楚 172	16 清×楚 19	8 血清 649

「日△清」の「清」[セイ]と「△清々しい」[すがすがしい]は常用漢字表にない音訓（表外音訓）。「清×楚」の「楚」は常用漢字表にない字（表外字）。

現代新聞 1966 年…『現代新聞の漢字100万字調査』国立国語研究所。「当用漢字表」の時代だが、1966 年 1 月 1 日付け～1966 年 12 月 31 日付けの「朝日新聞」「毎日新聞」「読売新聞」3紙の朝夕刊全紙面につかわれた漢字を異なり字種ごとにまとめ、順位づけるとともに、漢字語の出現数を調べている。

現代雑誌 1994 年…『現代雑誌200万字言語調査』国立国語研究所。1993-2005 年実施。「常用漢字表」になってからの調査。1994 年に発行された雑誌の中から選んだ月刊雑誌 70 誌を対象とした文字・表記、語集に関する標本調査における漢字語の出現数。

BCCWJ 2011 年…『現代日本語書き言葉均衡コーパス』（BCCWJ：Balanced Corpus of Contemporary Written Japanese）国立国語研究所。2005 年ごろからの日本語書きコトバ約 1 億語を収録。2011 年に完成させた。そこにおける漢字語の出現数。

朝日新聞紙面 2022 年 11 月からの 1 年間…朝日新聞の地域面をふくむ各本社の紙面にあらわれた漢字語の出現数。広告はふくまない。

google news 新着 検索 2022 年 11 月 4 日…検索エンジンの Google から「ニュース」の項目を「ウェブ全体から検索・新着」の条件で稿者が検索した漢字語の出現数。

この表では、人名、学校名、企業名、商品名、団体名、寺社名、地名などの固有名詞は、はぶきました。また熟字訓（付表の語）である「清水」ものぞきました。固有名詞との区別がつきにくいことがあるからです。

1966年から2023年にわたる約60年間の出現状況を概観すると、まず「清潔」が5つの調査ともに上位5位以内にはいっていることがめだちます。漢字「清」の代表的な位置にあることが想像されます。

ついで「清掃」も多くつかわれていることがわかります。日常生活や学校の活動、会社の業務などに深くかかわっているからでしょう。

《チャラにする。なかったことにする》意味の「清算」がつかわれるのは、人間関係よりも、資本主義経済の影響があらわれていることのようにです。

「清流」や「清浄」も、この字の代表的な意味に直結するので、わかりやすく、しばしばつかわれるのでしょう。

「清そ」（清×楚）が2回はいっているのも、現代語の特長かもしれません。常用漢字表にない漢字「楚」をもちいた「清楚」が、近年ウェブ上にあふれだす現象がみられます。

1回だけ5位以内にはいっている語のうち「清酒」と「血清」「清める」は、他の調査でも比較的上位にみられます。また「BCCWJ」と「Google news」で6位の「清涼」も「朝日新聞紙面」で8位と、近年めだつようになっています。

「日清」（日△清）の「清」[シン]は、中国の王朝名で、「清」を[シン]と読む例は、ほかにありません。常用漢字表にない音です。

5つの調査のなかで、いちばん信頼がおける「BCCWJ」にみられる「清」をふくむ語を一覧にします。

『現代日本語書き言葉均衡コーパス』（BCCWJ）の「清」をふくむ語の出現状況

数字黒：順位、数字青：出現回数、数字黒*は内訳数

1 清 掃	1490	7 清らか	263	17 清 教 徒	78	29 清 閑	6
清掃工場	*52	8 清 流	198	18 清 新	66	30 清まる	4
清掃車	*9	9 清 酒	195	19 清 廉	63	30 清浄(しょうじょう)	4
2 清 潔	1184	10 肅 清	182	清廉潔白	*24	30 清清(清々)	4
3 清 算	1022	11 清×楚	172	20 清 貧	60	30 清 遊	4
4 血 清	435	11 清める	172	21 清 い	56	34 △清しい	2
5 清 浄	310	洗い清める	*22	22 清 澄	51	35 △清ぐ	1
清浄野菜	*1	掃き清める	*19	23 清 音	44	35 清 香	1
空気清浄器	*1	×祓い清める	*4	24 清×冽	36	35 清 心	1
6 清 涼	271	13 △清々しい	155	25 清 明	35		
清涼飲料	*117	14 清 め	106	26 清 濁	29		
清涼殿	*55	15 清 純	93	27 清 栄	19		
清涼剤	*7	16 清 書	92	28 清 聴	14		

×常用漢字表外字、△表外訓

4. いまのはやりは「清潔感」と「清楚系」

近年、感染症対策がさけられるなかで、「清」の字をよく目にします。

- 身のまわりを**清潔**にしましょう。
- 換気のよい状況でマスクをして**清掃**しましょう。
- **空気清浄機**の活用が有効な対策です。
- 赤ちゃんのおしりふきには、消毒綿より**清浄綿**がよいでしょう。
- ペットボトル**清涼飲料**を口飲みした時の汚染にも気をつけましょう。

“清〇”が日常生活に深く入りこんできています。

なかでも、SNS やテレビ CM などを通じて、ことさらに「**清潔**」「**清潔感**」が強調され、はやりコトバのようになっています。

- 清潔は最強。
- 清潔になるって、いまお互いを想うこと。
- 女性に好かれる“清潔感のある男性”の条件。
- 清潔なだけではダメ。“清潔感”が大切。
- “清潔感”とは、相手に不快感を与えないこと。

ここでいう“清潔”は、感染症対策の“清潔”にとどまらないようです。

“清潔”というと代表的な意味は下の表の ① です。「外見的・物理的な清潔」といっていいでしょう。

でも、ここでのつかいかたは、それもふくみますが、むしろ「清潔なひとがら」「清潔な感じの好青年」などと、しばしばつかわれる“清潔”に近いようです。表の ② の意味の“清潔”とみられます。「内面的・心情的な清潔」といえましょう。

清 潔

- ① きれいで衛生的であること。ばいきん・きたないものや、よごれを取りのぞき、きれいにしてあるようす。「**清潔な衣服**」「**清潔な水**」
- ② きよらかな感じがするようす。心がきれいでおこないが正しいようす。「**清潔なひとがら**」「**清潔な政治家**」「**清潔な交際**」

〔注〕「清潔」の語釈・語誌は P.26 でふれます。

「およそけがれとは無縁で、ひとに対して、いい感じをあたえたい。」
「ごまかしがなく、信頼できそうな印象を相手にうけとめてもらいたい。」

こうした意味の“清潔感”を、どのようにしたら自分自身から、かもしだすことができるようになるか、それが最近のひとびとの関心のまとなっているようです。

それがもとになって“清潔感”が、いまのはやりのコトバになっているようです。「清」がある種の風潮にとりかこまれています。

「清潔感」につらなり増殖する「清楚系」

“清潔感”とともに，“清楚系”というコトバが、とくにめだつようになりました。時代の風潮をあらわしています。

- 明るくて清潔感のある白やパステル系の服が似合う清楚系の女性。
- 清楚系には、恋愛に必須な清潔感があり、外見や振る舞いが美しく見えるため、男性に人気があります。
- 清楚系を意識すれば誰でもモテるわけではありません。実は男性が思う清楚系と、女性が思う清楚系では少しズレがあるのです。

SNS や広告などでは「清楚系女子」「清楚系メイク」「清楚系ネイル」「清楚系黒髪ストレート」「清楚系ファッション」など、とどまるところを知りません。といってもこの“清楚系”は、紙の辞書にはまだのっていないようです。

ヒトの性格や行動様式の傾向を，“〇〇系”と、ある特性をもって短絡的にまとめてしまう似たようなつかいかたが、近年たくさん登場しています。そのなかでも Google が提供する検索エンジンのヒット数をくらべると，“清楚系”がケタちがいに多いことがわかります。

「清楚系」	約 121,000,000 件
「ギャル系」	約 93,000,000 件
「ナチュラル系」	約 53,100,000 件
「癒し系」	約 41,200,000 件
「肉食系」	約 25,500,000 件（2009 年新語・流行語大賞候補語にノミネート）
「マシュマロ系」	約 17,400,000 件
「ゆるふわ系」	約 8,130,000 件
「サバサバ系」	約 5,510,000 件

（「日本語のページ、期間指定なし、すべての結果」で 2023 年 11 月 6 日検索）

「清楚系」というコトバが登場したのは、つい最近のようです。

これまでは、女性を対象にしたものでしたが、ここに来て、ネット上にはこんな声もみられようになりました。

- 最近の若い男性は確かに清楚系男子ですね。みんなではないけど小綺麗なお兄さんたちが増えたなと街中や駅ですれ違う人を見てそう感じていました。
- 中学生男子です。清楚系の男子になるには具体的になにをしたらいいですか？
- 清楚系男子に欠かせないのは、外見の清潔感です。髪、肌、歯、爪はきれいで、周囲からは「女子力高いね」と言われることも。

「清楚」が《かざりけがなくきよらかな》という意味で日本語でつかわれるようになったのは、19 世紀のころからです。《すっきりとして美しい》という意味で中国の唐代の詩語だったこのコトバを借用して造語されました。

当初は現代語の「清潔」❶《きれいで衛生的であること》とほとんど同じ意味でつかわれました。それが景観、そしてものや、ものごとの性質のありさまや感じを、かざりけがなくきよらかなようすとして、えがくコトバになっていきます。

20 世紀になると、ある限定された状況でかたられることが多くみられるようになります。少女期の女性を形容するコトバとしてつかわれます。

国語辞典の語釈もそれに応じるようになります。

- （女性の服装・姿などが）清らかですっきりしていること。（三省堂『新辞林』）
- 〔女性の服装・姿などが〕飾りけが無く、さっぱりしている中に、美しさが感じられる様子。「一な身なり」（三省堂『新明解国語辞典』）

そして 21 世紀になると、時代の風潮からか、「清楚」が、SNS や広告などで多用されるようになります。

「内面も美しい清楚なおとなの女性をめざそう」とか、「清楚な服は高感度抜群」などと、いまを生きる女性に対して、あおりたてるようになります。

こうして「清楚」は、女性を対象にしたり、女性の特性を表現したりするというジェンダーバイアスがかかる文脈でつかわれるようになります。

その延長線上に「清楚系」というコトバが登場したのです。それが、ここに来て前掲のように男性に関する表現でもつかわれるようになったのも時代のふん囲気をまとっています。機能性（漢字語形成力）がとぼしく、必要性（学習や日常生活での必要さ）もない漢字「楚」にたより、しがみつくような、いまの社会の心理状況は、けっしてこのましいものとは、いえないでしょう。

〔注〕「清楚」の語釈・語誌は P.26 以降でふれます。

5. 固有名詞にみられる「清」

プラスイメージの漢字だけあって、さまざまなところでこの字をみかけます。人名、学校名、企業名、商品名、団体名、寺社名、地名などの固有名詞にある「清」の字に、こどもたちは、けっこうふれる可能性があります。関心ももっているかもしれません。

なやましいことですが、一般論としては、漢字学習で固有名詞は正面からあつかわない方がいいようです。ひとつの語形でも、よみが多方面にわかれ複雑であること、漢字との意味が明確におすびつきにくく、学習としての発展の可能性が少ないことなどが、かんがえられるからです。

ここでは、よくみられる名称にどのようなものがあるかを、おさえておきます。



その他、学校名 企業名 商品名 団体名などは 略

6. 日本語で「清」はどう読まれてきたか

現代日本語で「きよい」は「清い」だけ

和語の「きよし」（きよい）は《すんで美しい》《美しくすがすがしい》《清浄だ》といった意味のコトバです。これにさまざまな漢字があてられました。

『万葉集』には「伎欲吉〔きよき〕渚」「ますらをの伎欲吉〔きよき〕その名」などとともに、「清寸〔きよき〕神」もみられます。はやくも「清」を〔きよ〕と読む例がここにあります。

『源氏物語』では「空〔きよ〕きようすみわたれる」という表記もみられます。ただし、『源氏物語』や『枕草子』などでは、「きよし」「きよら」「きよらけし」「きよげ」などを、かなで表記するのが一般的でした。

平安時代末期の辞書『色葉字類抄』には、「きよし」の表記としてつぎの漢字をあげています。

清・浄・涼・潔・澄・刷・冶・雪・水・瀨・廉　その他4字（略）

後代の辞書には、これにくわえて「消・洗・冽・鮮・酒・明・百」などがみられるようになります。

最終的に近代にまで残ったのは「清・浄・冽・皎・潔」などでした。

うち当用漢字の訓として「きよい」があてられたのは「清」だけになり、それが常用漢字表にもうけつがれています。

ただし、文学作品や週刊誌の記事には「淨い」「潔い」などの表外表記がときおりみうけられるので、注意が必要です。

漢字「清」は、どのように読まれてきたか

平安時代中期の辞書『和名類聚抄』（20巻本）には、つぎのように「清」を〔あき〕と読んでいます。

清盲　七卷食經云凡鹿并梅李食之任身使子清盲　俗云　阿岐之比〔あきしひ〕

「清盲」を〔あきじい〕と読みます。差別語の「あきめくら」のもとになった語です。のちに「明盲」という表記にかわり、《見えていても物の存在や本質に気づかないひと》をいうコトバとしてつかわれ、現代では消滅しています。ただし、この『和名類聚抄』の「清盲」は《目をあけているようにみえても視覚が完全に失われているひと》のことをさしています。「清」を〔あき〕と読む例は、以降みられなくなります。

平安時代後期の辞書『類聚名義抄』は、当時つかわれていた和訓をならべています。それによると、つぎの読みがあります。

キヨシ・スメリ・シヅカナリ・ハラフ・イサギヨシ・ヲサム・ススム・サムシ・カハヤ

その後、これらから「キヨシ→きよい」と「スメリ→すむ」がいきのこり、さらに、中世から近世にかけて「さやか」「すがし」「すずし」がくわり、近代にうけつがれます。

現代日本語の漢字「清」の訓は、[きよい] が基本

「清」の訓は、当初「きよい」だけが当用漢字表にしめされました。その後、派生形の「きよまる」「きよめる」が追加され、いまの常用漢字表には 3 つの訓がなっています。また、「きよい」の派生形である「清らか」「清め」なども常用漢字表にそった表記といえます。

一方で、「さや・さやか」「すがし・すがすがしい・すがやか」をはじめ、「すずしむ（涼しむ）」、「すむ（澄む）・すます・すまし」などを「清」で表記する例が現代でもみられます。

とくに週刊誌をはじめとした出版物には「清々しい」という表記があとをたちません。パソコンの日本語漢字変換でかんたんに変換できることから、ウェブ上にも「清々しい」があふれています。対応が必要です。

現代日本語で「清」の音は[セイ] がほとんど

日本語に漢語がはいってきたときに、この字を最初に読んだのが[ショウ]というものでした。語例としていまにのこるのは、「清浄」[ショウジョウ]ぐらいしかありません。仏教で《ボンノウがない》ことをあらわす語です。《まよいをおこさせる眼・耳・鼻・舌・身・意の六つの器官をきよめる》という「六根清浄」をとなえて修行するすがたが、ときおりみかけることがあるくらいです。

音の[ショウ]は、当用漢字表にはなかったのですが、その後、追加され、いまでは常用漢字表にあっても、高等学校段階での指導にわりふられています。

「清」は、「清流」「清潔」「清掃」「清書」「血清」などと、現代語ではほとんどが[セイ]と読みます。

また[シン]と読むのは、中国の王朝だった「清」をさすときだけで、この読みも常用漢字表ではしめされていません。

7. 「清」をふくむ漢字語の語釈と語誌

きれい

清流 清潔 清浄
清純 清い 清らか

《よごれがなくきれい》

清掃 清書
清める

《よごれをとりさり、きれいにする》

《きれいにととのえる》

類義のならび

《よごれがなくきれい》きよい・きよらか・さわやか

「清潔」「清浄」「清純」「清澄」「清冽」「清廉」「清涼」

《よごれをとりさり、きれいにする》きよめる・ととのえる・きまりをつける

「清掃」「肅清」

対義のならび

「清濁」

修飾語としての「清」 《よごれがなくきれいな・きれいに》

「清水 [セイスイ]」「清酒」「清音」「清新」「清楚」「清香」

「清流」「清書」「清貧」

「清聴」「清栄」[敬意表現]

補足語となる「清」《ととのえてきまりをつける》

「清算」(算を清する)

述語となる「清」

「河清」(河が清する)「百年河清を待つ」=いつも濁っている中国の黄河の清く澄むのを待つと同じくできるみこみのない話だ。

清 潔

- ① きれいで衛生的であること。ばいきん・きたないものや、よごれを取りのぞき、きれいにしてあるようす。「清潔な衣服」「清潔な水」
- ② きよらかな感じがするようす。心がきれいでおこないが正しいようす。「清潔なひとがら」「清潔な政治家」「清潔な交際」

「清潔」の語釈を①と②にわけました。現代日本語の代表的な意味は、①ですが、古典中国語のコトバでももとは②に近い《人格や品行が清くいさぎよいこと》という意味でうまれました。

BC2 世紀末、中国の戦国時代に成立したとされる思想書『韓非子』に 4 例みられるほか、BC2-BC1 世紀、前漢のいくつかの書物に登場します。のちに①の意味でもつかわれるようになり、現代中国語「清洁」[qīngjié] (=清潔) は、①とともに②の意味でもつかわれているようです。日本語では 12 世紀ごろに①②両方の意味で、それぞれつかわれている例がみられます。

①の意味では平安時代中期の辞書『色葉字類抄』(1177 年 - 1181 年) に「清潔 セイケツ」がみられます。

②の意味では、『吾妻鏡』文治三年の条(1187 年)一〇月四日「重忠存清潔、太越傍人之由、自慢意之处、依真正男不義、逢耻辱畢云々」とあります。

以降、両者の語義で日本語に浸透していきました。

清 楚

清らかでさっぱりしたさま。飾りけのないさま。「清楚な身なり」

「清楚」は、中国唐代の詩人・韋建による「河中晚霽」という詩にある「湖廣舟自輕，江天欲澄霽。是時清楚望，氣色猶霾暝。」が初出のようです。

《すっきりとして美しい》という意味でした。

現代中国語で「清楚」[qīngchu] は日本語の意味とはことなり、《明確である。はっきりしている》といった意味でつかわれています。

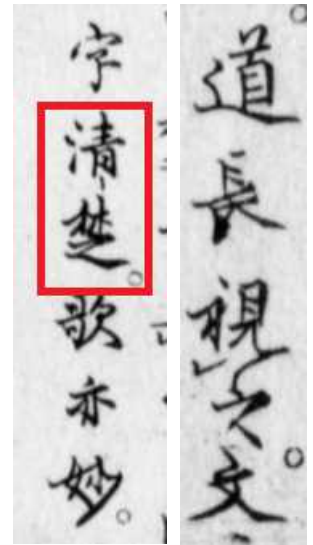
中国唐代の詩語だったこのコトバは、18 世紀清代になって編さんされた『全唐詩』が江戸時代の日本に輸入されたことから、日本語につたわります。

1868 年に出版された菊池容斎著『前賢故実』(巻第 5) は、百人一首 61 番・伊勢大輔の「いにしへの 奈良の都の 八重桜 けふ九重に にほひぬるかな」の解説で、《すっきりとして美しい》という意味で「清楚」をつかっています。

道長之を視て文字清楚。歌亦妙。

作者の伊勢大輔〔いせのたゆう〕は、藤原道長の長女で一条天皇の中宮である彰子〔しょうし〕に、紫式部や和泉式部らとともにつかえました。奈良から献上されたヤエザクラの受けとり役をセンパイの紫式部からゆずられ、その場で急に道長からもとめられて、とっさによんだというのが、このうたといえます。

この解説のくだりは「道長が、伊勢の書いた文字が清楚で、歌もいうにいわれぬほど、すぐれてたくみだと感心した」とのべているところです。



漢詩で《すっきりとして美しい》ことをあらわす「清楚」がこうしてつかわれています。「清楚」が、詩歌の分野のコトバにとどまれば、いまのようなひとびとの言語生活への影響は、なかったのですが、語釈が拡張していきます。

近代日本語は、唐代の詩語だったこのコトバを借用して、こんにちの「清潔①」《きれいで衛生的であること》をいうコトバとして造語されました。

初出は、宇田川榕庵〔うだがわようあん〕が訳述した『舎密開宗』〔せいみかいそう〕（1837 年 - 1847 年）という西洋化学のほんやく書にあります。《清潔な布》を「清楚の布」としています。

その後、西洋医学のほんやく書などもこの意味で「清楚」をつかうようになります。

普林篤〔フリント〕著『窒扶斯新論』〔チフスしんろん〕（1868 年）には「腸中又常ニ清楚ナランことヲ要ス」とあります。米国の医学者 Austin Flint の著書を松山棟菴〔まつやまとうあん〕が訳したものです。

同様の例は、つぎの書物にもあります。

美独〔ミード〕著、杉田玄端抄訳『産科宝函』（1872 年）

ロベルト・ドロイ著、森鼻宗次訳『外科新説』（1874 年）

嘉約翰 口訳『内科闡微』（1879 年）

後藤昌直『難病自療』下（1882 年）

『歯科雑誌』1894 年 2 月号「歯科治療室の清楚」

西洋諸国の政治・風俗・経済・制度などを紹介した福沢諭吉『西洋事情』初編巻之Ⅰ（1867 年）にも「清楚」の語があります。

「癲院」[てんいん]の項です。いまでいう精神科の病院のことです。

繪ヲ畫ク者アリ或ハ音楽スル者アリ院内殊ニ**清楚**ニシテ他諸院ト異ナリ

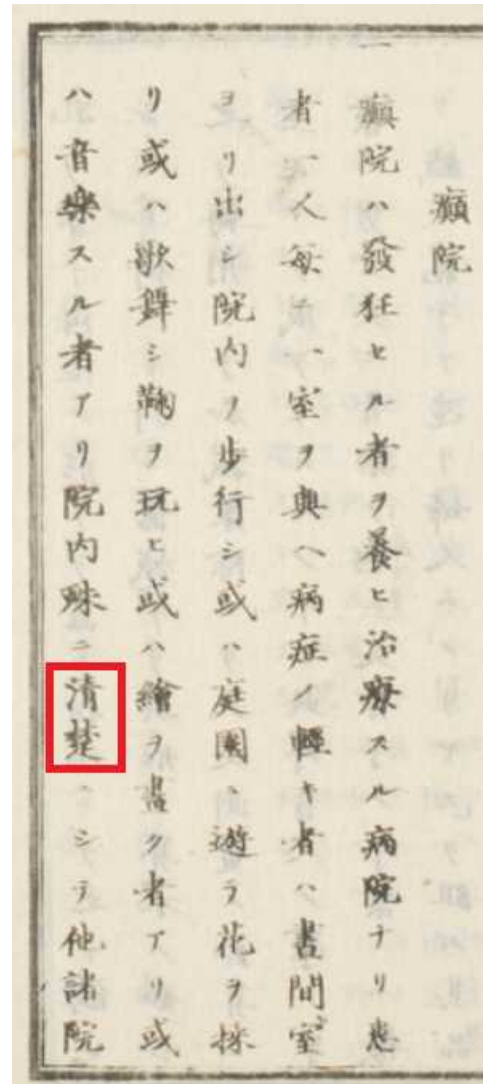
この「清楚」も「清潔❶」と同義です。

同時期の福沢諭吉の「京都学校の記」(1872年)にも同様の用法がみられます。

学校の内、きわめて**清楚**、壁に 疵 [きず] つくる者なく、座を汚す者なく、妄語せず、乱足せず、取締の法、ゆきとどかざるところなし。

同じ『西洋事情』初編巻之Ⅰ(1867年)の「病院」の項には、「清潔」がありますが「清潔❷」の意味でつかわれています。

其ノ年期内ニハ男女ノ交ヲ絶チ**清潔**ヲ守ルコト本邦ノ尼ノ如クシテ病院ニ入ル者ナリ



この時期に「清潔」の多くは「清潔❷」の意味でした。

それがやがて「清潔❶」の用例がすこしずつ増えていき、それに対応して「清楚」から《きれいで衛生的であること》という語釈がうすれていきます。そしてそれにかわって《かざりけがなくきよらかな》という意味の「清楚」が登場します。

- 清楚たる葉桜の緑浅し (泉鏡花, 1894年)
- 日本人の趣味は淡泊である、清楚である。(津田左右吉, 1914年)
- 清楚な食卓だった。(梶井基次郎, 1927年)
- 清楚な感じのする食堂。(寺田寅彦, 1937年)
- なんとその花の清楚なことよ、気高いかおりがあたりにただよって、私はしんとする。(種田山頭火, 1941年)

- 本化粧は自然に背〔そむ〕くとか云って薄化粧の清楚な作り、風格丰神〔ぼうしん〕共に優美で。(二葉亭四迷『浮雲』第2編, 1888年)

《かざりけがなくきよらかな》という意味は、女性の容姿やしぐさなどにおすびつけやすいのでしょうか。

それが 20 世紀になると、さらにある限定された状況でかたられることが多くみられるようになります。

- その全体からうける清楚とした感じは、とても後年の濃艶な扮装の夫人から想像することはむづかしい。(岡本かの子, 推定1930年代)
- まだ十八になったばかりの、痛痛しいばかりに初々しい清楚な娘さんである。(織田作之助, 推定1940年代)
- まだ子供らしさの多分に残っている少女であるが、知的な目がパッチリかがやいていて、目がさめるような清楚な感じがする。(坂口安吾, 1954年)

このように少女期の女性を形容するコトバになりました。

国語辞典の語釈もそれに応じるようになります。(P.21 参照)

そして 21 世紀になると、時代の風潮をまとい「清楚」が、多用されるようになります。「清楚」は、女性を対象にしたり、女性の特性を表現したりするというジェンダーバイアスがかかる文脈でつかわれることが多くなりました。その延長線上に「**清楚系**」というコトバが登場したことはすでにのべました。

「清楚」の「楚」は、常用漢字表外の字です。語は「清楚」のほかに「楚々とした人」「四面楚歌」などかぎられたものしかありません。

これまで新聞は、常用漢字表外字ということから使用をひかえてきました。ところが、最近では、ふりがなつきでのせるようになってきています。

- ミズバショウの自生地で、白い清楚な立ち姿が見ごろを迎えつつある。
- 1970年代に透き通った歌声を披露し、清楚で可憐な姿を見せた。

漢詩の語としてかぎられた範囲でしか、つかわれなかったこのコトバが、一般化しようとしています。

注視しておきたい現象です。

さくいん

清い	23・24
清める	16
清らか	5・6
河清	16・25
血清	16・25
《清水》[しみず]	8・22
肅清	16・25
清浄 [しょうじょう]	24
清栄	25
清音	3・25
清潔	7・9・16・19・20・25・26・28
清香	25
清算	13・14・15・16・25
清酒	16・25
清純	10・25
清書	4・25
清少納言	8
清浄	10・18・19・25
清新	8
清×楚	16・20・21・25・26・27・28・29
清掃	11・13・15・16・19・25
清濁	25
清澄	8・12
清聴	25
清貧	25
清流	5・11・16・25
清涼	12・16・19・25
清×冽	25
清廉	10・25